

No.189

令和元年12月
定例会号
2020年2月1日発行

いるま

市議会

だより



12月定例会

条例など23議案等を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
平成30年度歳入歳出決算を認定	4 P
議会運営委員会視察報告	8 P
14名が一般質問	9 P
市民の声	16 P



第4回定例会

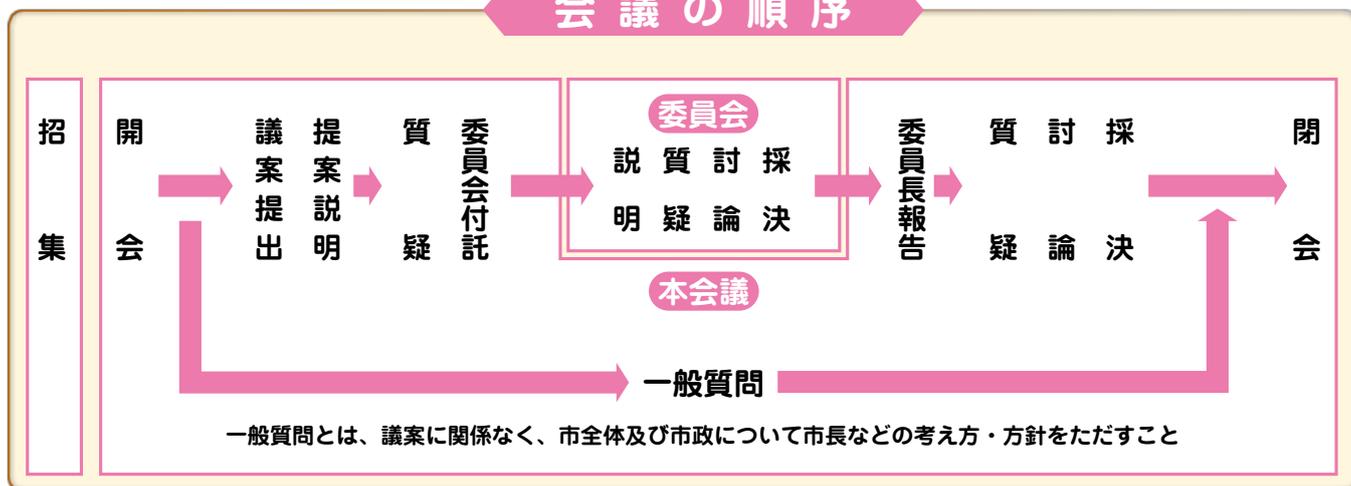
23 議案等を審議

- 人事案件 3 件 ■条例 6 件 ■一般議案 1 件 ■補正予算 1 件
- 平成 30 年度決算認定および関連議案 12 件

条 例

一部改正条例	議案第 104 号	入間市表彰条例の一部を改正する条例
	議案第 105 号	入間市手数料条例の一部を改正する条例
	議案第 106 号	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 職員の特別休暇である夏季休暇の日数等を定めるとともに、新たにボランティア休暇（市の行事には適用されない）を定めるため、所要の改正を行うものです。
	議案第 107 号	入間市下水道条例の一部を改正する条例
	議案第 108 号	入間市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
	議案第 109 号	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 法改正に伴い、基礎課税額の法定賦課限度額が引き上げられたことから、条例の賦課限度額を法定賦課限度額に引き上げるため、条例を改正するものです。

会議の順序



令和元年 12 月定例会（第 4 回定例会） 議決結果

賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党入間市議団		日本共産党入間市議団		民進党入間市議団			賛成	反対	議決結果等							
		宮岡治郎	金子俊雄	平山五郎	小島清人	横田淳一	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	吉澤かつら				小出 亘	佐藤 匡	坂本優子	細田智也	野口哲次		
市長提出議案	89	平成30年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定	
	90	平成30年度入間市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定
	92	平成30年度入間市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	認定
	109	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	4	原案可決

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名
91	平成30年度入間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
93	平成30年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
94	平成30年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
95	平成30年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
96	平成30年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
97	平成30年度入間市水道事業会計の利益の処分について
98	平成30年度入間市水道事業会計決算認定について
99	平成30年度入間市下水道事業会計の利益の処分について
100	平成30年度入間市下水道事業会計決算認定について
101	人権擁護委員候補者の推薦について
102	人権擁護委員候補者の推薦について
103	入間市教育委員会委員の任命について
104	入間市表彰条例の一部を改正する条例
105	入間市手数料条例の一部を改正する条例
106	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
107	入間市下水道条例の一部を改正する条例
108	入間市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
110	入間市老人福祉センターやまゆり荘の指定管理者の指定について
111	令和元年度入間市一般会計補正予算（第4号）

議会人事

本定例会において、任期満了となる埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙を行いました。

埼玉県都市競艇組合議会議員 宮岡 治郎

平成30年度 決算の内容をチェック

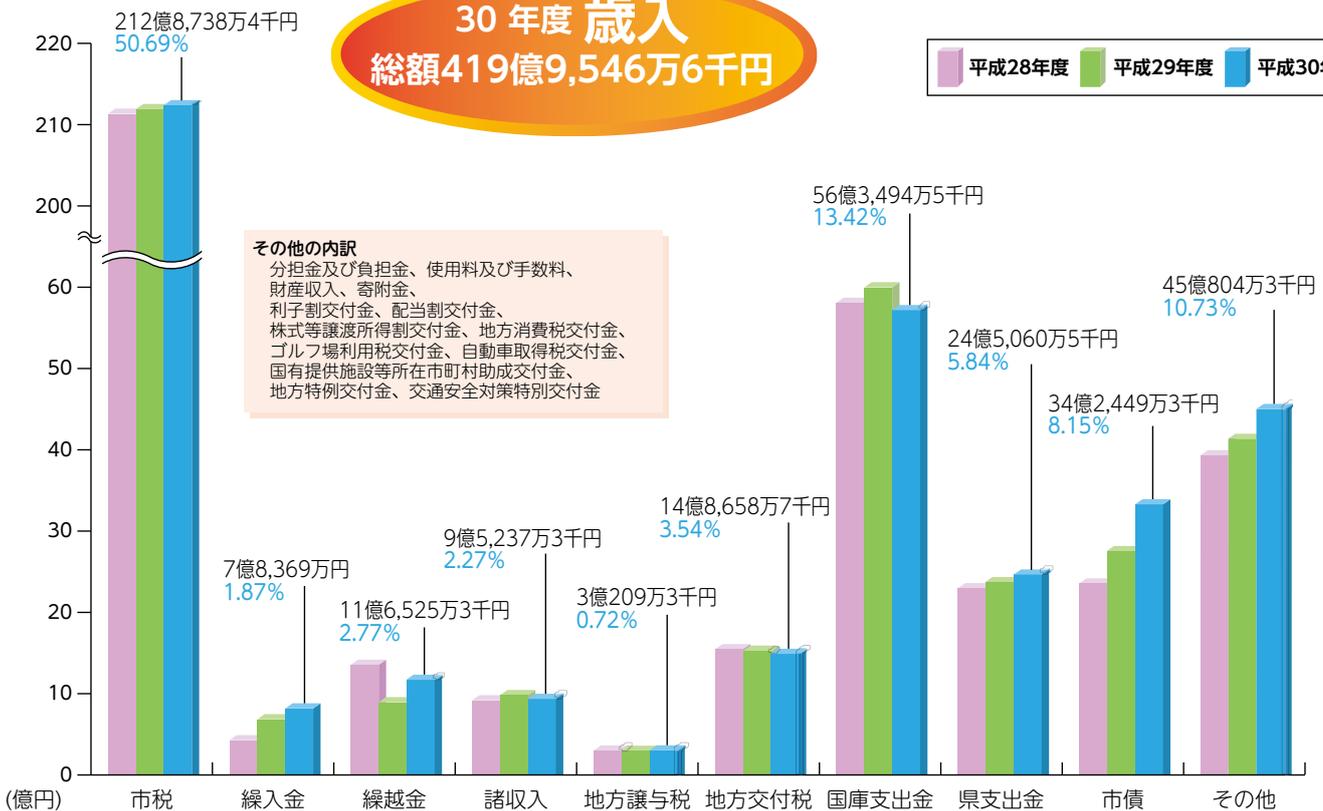
※表またはグラフ中の数値は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は一致しない場合があります。

一般会計

自主財源255億9,692万4千円 (61.0%) 依存財源163億9,854万3千円 (39.0%)

市税負担額 市民1人あたり 14万3,546円
1世帯あたり 32万4,607円

平成28年度 平成29年度 平成30年度



令和元年第3回定例会において、決算特別委員会に付託され、閉会中の継続審査としていた平成30年度決算認定および関連議案については、令和元年9月24日から10月23日にかけて審査を行いました。

なお、審査の結果については、令和元年第4回定例会の開会日において報告され、討論と採決を行い、すべて認定及び原案可決と決しました。

議会運営委員会・特別委員会

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管しています。

特別委員会は、必要がある場合に設置される委員会です。条例の定める出来事が起きた場合、または議決が行われた場合に設置されます。現在、入間市議会では、基地対策特別委員会、公共施設最適化検討特別委員会、決算特別委員会（決算審査期間のみ）が設置されています。

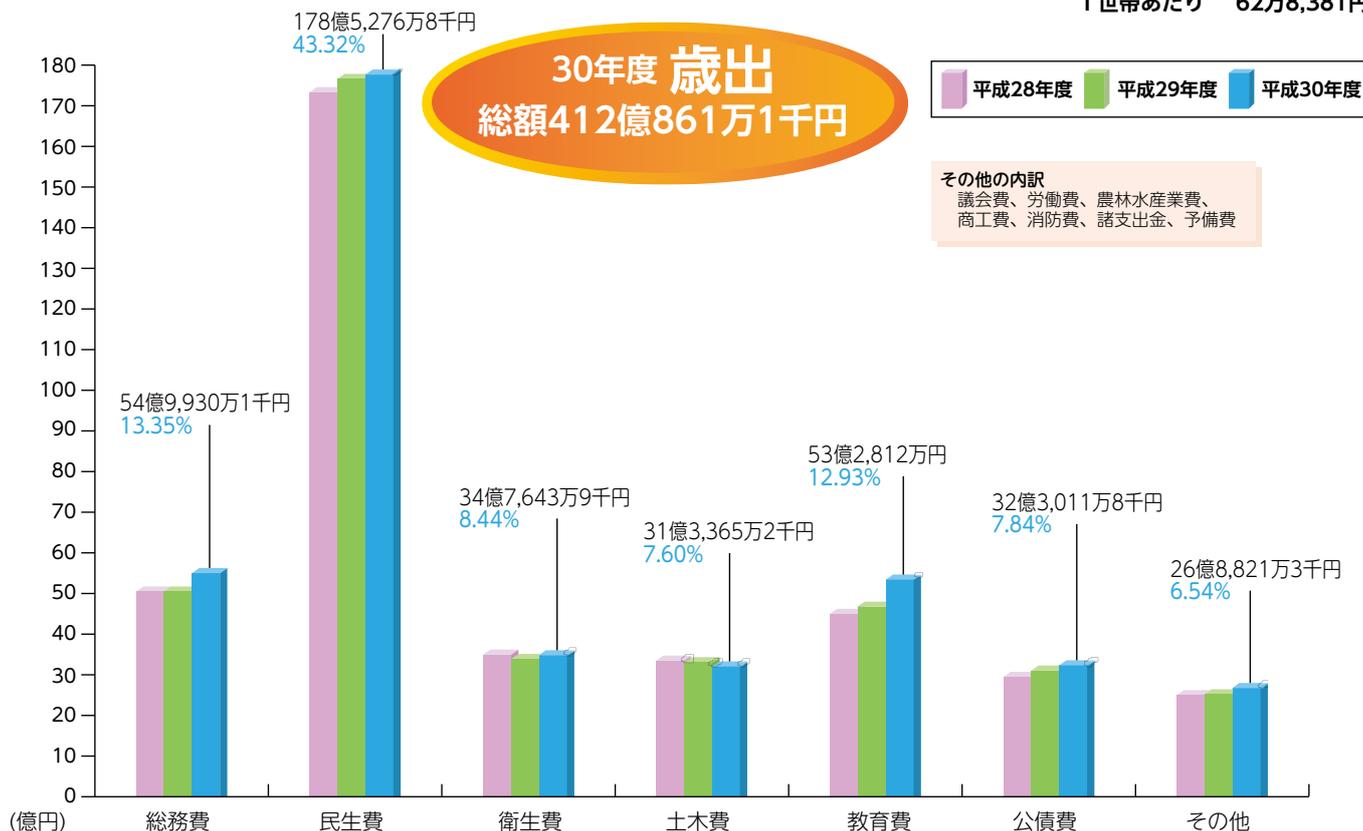
決算

平成30年度の決算について、市長から次のとおり概要報告がありました。
 各会計の予算執行につきましては、事業進捗上やむを得ない理由で一部の事業は繰越措置をいたしましたが、予定していた事業は概ね執行できました。
 平成30年度の一般会計歳入歳出については、差引額7億8,685万5,343円となり、翌年度への繰越額を除き実質収支額は6億9,785万7千円で決算いたしました。

一般会計

平成31年4月1日現在 人口148,297人 世帯数65,579世帯

市民1人あたり 27万7,879円
 1世帯あたり 62万8,381円



平成30年度入間市特別会計決算一覧表

	歳入	歳出	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険特別会計	164億267万7千円	159億7,653万5千円	0円	4億2,614万2千円
後期高齢者医療特別会計	17億3,330万7千円	17億2,517万円	0円	813万7千円
介護保険特別会計	98億7,049万8千円	95億4,456万1千円	0円	3億2,593万7千円
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	1億17万4千円	5,418万9千円	3,348万円	1,250万5千円
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	4億6,857万5千円	3億3,973万円	8,403万3千円	4,481万2千円
扇台土地区画整理事業特別会計	5億3,024万4千円	4億5,241万3千円	2,285万6千円	5,497万5千円
狭山台土地区画整理事業特別会計	1億3,767万6千円	1億3,767万6千円	0円	0円

実質収支額＝歳入－歳出－翌年度へ繰り越すべき財源

討 論

一般会計・特別会計



平成30年度一般会計・特別会計の決算について、各会派が討論を行いました。その概要について報告します。

討論の内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です)

反対

日本共産党入間市議団

一般会計討論

30年度は保育所・学童保育の待機児童がこれまで同様に発生した。マイナンバー制度は、個人情報管理に多大な費用がかかり、情報が大量に流出する危険がある。公共施設マネジメントで学校・公立保育所・公民館などの統廃合が確定されたが、災害時の避難所がなくなることになり、市民の生命の危険を生じさせる。小中学校のエアコン稼働、学童保育の増設、子どもの貧困調査など評価できる点もあるが、全体に課題が多く残され、国の悪政の防波堤として市民の苦しい生活に寄り添った対策が盛り込まれなかったことから反対する。

賛成

自由民主党入間市議団

一般会計討論

歳入では、市税収入が増収となっている。交付金・交付税などには増減変動がみられるがこれは堅調な企業収益の影響によるところが大きいものの、収納率の向上に努めた結果でもある。歳出では、東町第二学童保育室設置、小中学校全校へのエアコン設置、防災行政無線デジタル化、市民体育館耐震化、「ていーろーど」の本格運行など市民生活の利便性向上に努められた。公共施設マネジメントなど今後の財政運営を考えると、経常収支比率については類似団体との比較検証を行うなどして改善策を考え取り組んでいくことを期待し賛成とする。

賛成

公明党入間市議団

一般会計討論

①人事評価を報酬に反映する制度改革を評価。②長年の固定資産税課税誤りを認めて一斉調査を行い約2億円の還付実現は評価。現場職員のご労苦に改めて感謝。③不老川改修事業が県との調整の遅れにより一部進捗の遅れ。被災地区の住民への丁寧かつわかりやすい情報提供を要望。④不登校児童生徒数が前年度比で2.3倍の急増に対し児童生徒・保護者へのきめ細やかな対応を要望。⑤小中学校のエアコン稼働を評価。

市民が望む行政とは何か、その声なき声に耳を傾けていただき、住み続けたい街入間市実現を要望し、賛成の討論とする。

賛成

民 進 の 会

一般会計討論

平成30年度決算においては、緩やかな回復基調で推移し、実質収支は6億9,785万7千円で決算した。

東町第二学童保育室設置工事など保育や子育て支援事業の拡充、市民サービスの向上も着実に推進された。一部、繰越措置を行ったが、おおむね執行できたことについては、職員のご努力も含め評価。

行財政運営のさらなる効率性を追求しつつ、必要な施策を積極的に推進していただくよう期待し、賛成討論とする。

反対

日本共産党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

平成28、30年度と国保税値上げが続いた。高過ぎる国保税を協会けんぽ並に引き下げるべき。国保税には均等割、平等割があり多子世帯ほど負担増になる仕組みで少子化対策に逆行する。多子世帯の均等割を軽減し支援すべき。国保の構造的問題解決には全国知事会が国に求めているように1兆円の公費投入が必要である。国保税の軽減・減免拡充と法定外繰入金増額で払える国保税にし、医療と健康を守るべき。

(介護保険特別会計)

年金減額が続く中、平成30年度保険料を改定。3年ごとの見直しで値上げが続いている。特養老人ホームの入所制限や要支援1・2を介護給付から外す等、負担増とサービス削減、制度改悪が進んでいる。国庫負担を介護制度前の50%に戻し、安心できる介護サービスの構築を図るよう求める。



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国保広域化により、制度を持続可能にするため、改革が行われた。併せて、低所得者対策の強化や保険者の努力支援など、国からの財政支援として3,400億円の公費が投入された。しかし、30年度実質単年度収支は2億2,865万7,077円の赤字であり、財政運営は依然として厳しいが、収納率向上や保険者努力支援制度など特別交付金は評価できる。地域医療の確保を堅持し、健全な財政運営に努力することを要望し賛成する。

(介護保険特別会計)

30年度決算は歳入歳出差引額3億2,593万6,814円の黒字決済である。総合相談事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、また介護予防事業で工夫が見られたことを評価する。適正な介護給付の執行に努め、安定した制度運営を図ることを要望し、賛成とする。

賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

構造的な課題解決に向け平成30年度から県主体となる広域化などの制度改革が実現。歳入は税負担の公平性と制度の持続性を図り、前年度対比約3千750万円の増、収納率前年度比0.3ポイント増は評価。歳出は3点を要望。①療養費のレセプト点検の強化②微量アルブミン検査の導入などの糖尿病対策の推進③国保被保険者の国保税負担率の分析・評価により所得層別の負担率を把握し、負担平準化の参考とすること。

今後も県との連携を強化し、健全な財政運営に一層の努力を要望し賛成とする。

(介護保険特別会計)

20年が経過し市民に根付いた介護保険制度の堅実な運営を大きく評価。財政状況の変化に注視しつつ適正な介護給付の執行と利用者に寄り添う介護サービスに努め、安定した制度運営を要望し賛成する。

越前市

議会活性化に向けた取り組みについて 『市民と議会の語る会』は、開かれた議会を目指し、諸課題について説明責任を果たすと共に、市民及び市民諸団体等と、自由に情報及び意見交換をすることで、議会として、政策立案に活かす事を目的とする。

『議会モニター制度』は、各種団体代表や公募の12名に委嘱し、議会傍聴等により、議会運営への提言を受けている。政務活動費の『議会だより』への掲載、一般質問中継時のテロップ等の実績がある。

庁舎建替えに伴う議会機能について 基本設計の段階で、要望を担当課に提出し、全室無線LANが設置された。新議場は3階・4階を貫き、中央が空間となっている。傍聴席から見て、左側に議員席、右側に市長・執行部席があり、それぞれが対面する。また、正面には議長席が配置されている。



小浜市

議会改革について 市民を対象に『議会に関するアンケート』を実施した。市議会への関心では、非常にある3.4%、ある33.0%、あまり無い49.1%。無い13.0%、等の厳しい結果となり、議会改革の基礎資料とした。

『予算決算常任委員会』は、地方自治法の改正で設置が可能となった。議案不可分の原則等、分割付託方式の問題点を解消した。常任委員会の専門性を生かし、分科会で審査することで、政策的な質疑が増えた。

『議会報告会』は、年1回、市内全域で、全議員を4班に分けて、3日かけて実施している。市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を実施報告書として作成し、全議員の自由討論で、議会活動に反映出来る。議会として政策討論会を開き、提言書等を市長・執行機関へ提出し、「市民の意見」を政策形成に結び付ける事も出来る。



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



入間川大雨対策・アライグマわな

小出 亘 議員

質問 仏子の下河原地域では、台風19号でも側溝の溢水により1メートルもの冠水が発生した。側溝の入間川への放水路が増水時に水没してしまうため、大雨時にはたびたび被害が生じている。今後の対策は。

市長 側溝の水が排水されず溢れる事態があることは認識している。根本的には河道の整備・河床掘削が必要である。

質問 入間川支流の大沢川・前堀川の土砂除去を増水季節前に定期的に行うべきでは。

市長 両河川とも土砂除去を進めている。増水季節前に毎回行うのは難しいが、入間川に堆積した土砂を除去することで両河川の流れをスムーズにすることが改善策と考える。

質問 入間川流域の水害を繰り返さないために河床の掘削が必要ではないか。

市長 今後は、支流の土砂堆積を防ぐためにも入間川に堆積した土砂の定期的浚渫を飯能県土整備事務所に求めていく。

質問 アライグマの農業被害などを防ぐために、飯能市などと同様に入間市でも個人でわなを使える講習の実施を。

環境経済部長 県で実施している講習の周知をしながら、今後は応募者数や市民の意見を考慮し、実施するか検討する。



冠水した仏子下河原地域の市道



公共施設・公共交通・土砂対応

長谷川 渉 議員

質問 宮寺・二本木地区保育所統合の進捗状況と今後の予定は。

市長 新たな保育所の場所について、市役所内の関連各課が協議を行い候補地の選考を行っている。今後、保育所整備計画の内容を現場の職員にも確認し策定を進める。

質問 宮寺・二本木地区小学校統合の進捗状況と今後の予定は。

市長 現在、新たな学校の場所について、市役所内の関連各課が協議を行い候補地の選考を行っている。用地買収という特殊性もあり、その状況に応じながら検討会議の期間延長を行うなど、柔軟な運営を検討会議の皆様と協議しながら進める。

質問 公共交通再編に向けた実証運行状況と、本格運行に向けた状況及び方針は。

都市整備部長 ていワゴン全体で昨年2月～10月の利用者21,621人に対し、今年度は26,287人で4,666人の増加。今年度末に本格運行を開始する方針。現在、国土交通省への乗合免許等の申請準備を進めている。

質問 市道幹43号線豪雨時の土砂対応は。
教育部長 狭山小学校では既存のU字側溝の清掃回数を増やす。新たな雨水対策は、周辺環境を考慮し効果的な対策を検討する。博物館に関しては、遊水池の活用等を踏まえて土砂が流れないように検討を行う。



狭山小学校校庭から流れ出す雨水



野田中学校校舎を使わない理由

野口 哲次 議員

質問 建物の長期間のトータルコストでは、一般的には長寿命化を図り活用していくことで低くなる。歳入・歳出の乖離が大きく経費の削減が求められるのに、野田中学校舎の長寿命化・活用をしない理由は。

総務部長 本市の公共施設の多くは、これまでに必要な時期に改修を行ってきていないので、耐用年数の60年を目安に建て替える計画である。

質問 今聞いているのは、築後30年しか経っていない建物である。今からでも長寿命化できないのか。

総務部長 これから大規模改修などすれば長寿命化は可能である。

質問 西武地区中学校の統廃合計画を決める際のパブリックコメントでは、30年し

か経っていない野田中をなぜ使わないのか、西武中に統廃合する理由に納得できないという意見が多数あった。「お金が苦しい時でしょう」とか、「税金をドブに捨てるのか」というもっともな声もある。

市は、パブコメの意見等を参考にして、統廃合の時期を2023年から現西武中学校舎の耐用年数が経過する10年後の新築時とした。これでもって市民の理解が進むとお考えか。

総務部長 住民理解の手段の一つとして、統廃合の時期を延期した。

第5章

【歳入・歳出の乖離解消策】

事業計画の実施に伴う財政効果である跡地の売却益や施設の統廃合に伴う運営経費等の削減、行政改革の取り組みにより、【表1】の歳入・歳出の乖離額を解消していき、不足額については財政調整基金で調整していきます。

なお、財政調整基金からの繰入額については、経済状況や国の動向、行政改革等により変動するため、毎年の実施計画や予算編成において年度予算全体の精査を行いつつ、適切な繰入額としていきます。

(単位:千円)

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
歳入増加額		143,164	257,710	174,710	133,710
歳出削減額		-198,370	-337,360	-355,680	-455,050
財政調整基金繰入	1,180,000	467,886	420,857	832,934	733,942

区分	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
歳入増加額	162,289	170,946	133,710	133,710	133,710
歳出削減額	-709,210	-711,730	-685,710	-685,710	-842,310
財政調整基金繰入	1,030,702	1,075,916	1,928,297	2,303,172	2,373,692

公共施設マネジメント事業計画 10年間の「歳入・歳出の乖離解消策」

教職員が家庭・保護者と連携を図りながら、より一層、認知・対応に努めていく。

質問 スマホはGPS機能がついている。「安全器具」として所持させる方向は。

教育長 災害発生時の安否確認・緊急時の連絡に活用できると認識している。しかし、スマホは高価な精密機器であり、個人情報「の塊」。管理の面で問題。また、スマホを所有していない子どもへの配慮も必要。学校への持ち込み原則禁止は継続していく。＜その他＞多様な環境にある子供について



中学生向け「スマホ講話」



スマホに関わる子どもへの安全を

坂本 優子 議員

質問 市の子どものスマホの所持率は。

教育長 調査によると、中学校では携帯電話等の所持率は76%。そのほとんどが、自分専用のスマホを所持している。

質問 学校における持ち込み使用は。

教育長 本市において、小・中学校では携帯電話等の持ち込みは原則禁止。

質問 スマホの依存症に対する見解は。

教育長 スマホは今や生活に欠かせないものとなりつつある。その反面、触れていないと不安になったり、イライラしてしまうこともある。子ども達の生活や健康に支障をきたすことを危惧している。

質問 スマホいじめ・トラブル対策は。

教育長 ネットいじめはスマホ等のアプリを使った「見えにくい」いじめである。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



子どもの権利条例・ 中学校部活動

内村 忠久 議員

- **質問** 子どもの権利条例の検討状況、条例制定の意義・必要性・効果について。
- **こども支援部長** 子ども支援施策の方向性を明らかにし、総合的、継続的、安定的に推進ができ、地域での活動の根拠となる。
- **質問** 今後、条例制定の取り組みは。
- **こども支援部長** まずは、子ども子育て支援事業に、しっかりと取り組んでいく。
- **質問** 生徒数減少による中学校部活動の規模や種目数縮小傾向の、現在の課題は。
- **教育長** 学校の規模に応じ設定される部活動の中から入部している。また教職員や部員数の減少により部活動を休部、廃部せざるを得ない状況もある。
- **質問** 生徒数の減少に伴う措置として合同部活動が提唱されているが、現在中学校

部活動での、合同部活動の在り方は。

教育長 合同部活動は大会参加の救済策である。合同部活動を推進していく。

質問 在籍校に希望する部活動がない場合などの具体的な所見は。

教育長 希望する部活動がある中学校への指定校外就学を認めている。

質問 可能な限り柔軟な対応で推進を。

教育長 合同部活動の中で可能な限り対応していきたい。

〈その他〉 災害時における情報伝達の課題



中学校の部活動の様子



黒須・高倉地域の避難 所の確保を

吉澤 かつら 議員

- **質問** 学校統廃合で現在の高倉小が閉校となった後、校舎を青少年活動センター、福祉作業所等の公共施設として利用し、避難所としても活用するとしている。校舎が耐用年数を超えた後の対応はどうか。
- **総務部長** 校舎が使えなくなったら地区体育館等を集約する用地として残る。避難所としての活用は図られるようにしたいが、先の計画なので現時点では明確ではない。
- **質問** 高倉公民館の地域防災計画における避難所の収容人数は142名となっているが、台風19号では70名で避難者多数により受け入れを停止した。その要因は何か。
- **危機管理監** 防災計画の人数は建物面積で割り出した形式的な計算となっている。
- **質問** 市は「入間市の避難所は現在5万

8千人分あり、公共施設を3割減らしても4万人分あるので影響は少ない」と説明してきたが、計画上の収容人数と実際の収容人数は大きく異なっているが、どうなのか。

市長 収容人数の数字は再検証していく。

質問 国民の権利である生活保護制度の周知や申請しやすくする取り組みを求めてきたが、改善されたことはあるのか。

市長 「保護のしおり」を生活支援課の窓側通路2か所に置いた。しおりの内容についても新しいものを検討している。



公共施設の統廃合で廃止となる予定の高倉公民館



宮寺地区のみそぎ川の 雨水対策を

永澤 美恵子 議員

質問 市立あずま幼稚園閉園の影響も含め、障がい児の保護者には保育所・私立幼稚園の入所を断念する方もいる。潜在的な声を聞くためのニーズ調査が必要では。

子ども支援部長 令和3年に実施する。

質問 将来的な豊岡地区の公立保育所統合時には、多様な働き方への支援・統合保育の実施など、全ての保育ニーズに応えるための子育て支援拠点施設として、公立認定こども園を設置すべきでは。

市長 今後、前向きに検討していく。

質問 乳がん検診率の低迷は、痛みを伴うマンモグラフィ検査が原因の一つ。さらに現在の機器では高濃度乳腺の方の発見率に課題が残ることから、健康福祉センターのマンモグラフィ機器更新時には、最新の立

体画像対応のマンモグラフィ機器導入を。

健康推進部長 国の動向を見て検討する。

質問 狭山丘陵の湧水を淵源として宮寺地区を流れる禊川は、大雨のたびに防災拠点である小林病院付近などで浸水被害。これまで何ら対策も講じていないことから、まずは水量調査を実施し、浸水被害対策の計画を立てて住民の不安解消を。

都市整備部長 深刻な浸水被害が起きている3カ所の現地調査を実施し、改善できる箇所から実施していく。



大雨のたびに氾濫する禊(みそぎ)川(宮寺保育所付近)



霞川護岸の整備で通 学路の安全を

末次 正 議員

質問 港区は、AI(人工知能)を活用した保育所入所選考を実施。人手では500時間かかる選考を5分で終了。多くの自治体が導入又は導入を検討中。AI活用の評価は。

子ども支援部長 AI活用で、公平な選考と作業時間の短縮を図れる。また、選考結果を保護者に早期に通知できる。

質問 申込者への支援の充実が可能では。

子ども支援部長 削減した時間で、入所保留の申込者に丁寧な対応が可能となる。

質問 開発業者の協力を得て、導入効果検証のための実証実験を提案する。見解は。

子ども支援部長 保育システム更新の検討の際に実証実験の実施も含め、導入に向けた検討を進める。

質問 近年の激甚化する水害に特化した、

防災マニュアルを作成すべき。見解は。

危機管理監 必要性は認識する。早急に作成する。

質問 有間ダムの越水情報の連絡体制は。

危機管理監 県と連携し連絡体制を構築。

質問 霞川八瀬橋東側の護岸は、多くが石積構造で危険。護岸北側の市道C543号線は金小・金中の通学路。改修の見通しは。

都市整備部長 飯能県土整備事務所と連携し、護岸の改修に合わせ市道を改修し、安全な通学路を目指す。



台風第19号による応急補修後の霞川八瀬橋から東側の護岸

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



補聴器購入助成・胃カメラ検診等

安道 佳子 議員

質問 加齢性難聴者の実態を把握しているか。意思疎通や社会参加が困難な方々への支援や対策についての認識はあるか。

市長 市の難聴者調査はないが、日本補聴器工業会調査の数値 11.3%を参考におおよそ 1万6千7百人と推計した。意思疎通や社会参加が困難なため何らかの対策が必要。

質問 高齢者福祉として補聴器購入補助を実施する自治体が増加。先進自治体を参考に調査研究し導入に向け検討すべきでは。

市長 先進自治体の調査研究に取り組む。

質問 入間市と近隣市、県内自治体の胃がん検診はどのようなになっているのか。

市長 入間市はX線(バリウム)検査のみで、胃カメラ検査との併用は県内 26市で実施。近隣では狭山市、所沢市等も併用。

質問 国は指針改定で胃カメラ検査を推奨。早期発見・早期治療のためにも胃カメラ検査の導入を検討すべきでは。

市長 課題はあるが、胃カメラ検査導入に向け前向きに医療機関と調整を図る。

質問 東町6丁目、行政道路と安川新道線交差点から自動車販売店までの歩道が狭い。歩道拡幅を飯能県土に要請すべき。

都市整備部長 歩道が狭く危険。住民要望を市長名で飯能県土事務所長に提出した。要望を受け前向きに検討するとの回答。



東町6丁目(行政道路)の狭い歩道



不老川治水・避難所・建武橋工事

佐藤 匡 議員

質問 不老川の治水事業の進捗状況は。

市長 入間市が実施する不老橋・富士見橋の橋梁詳細設計は完了。令和2年度より橋の架換え工事開始予定。埼玉県で実施する藤沢橋・西武池袋線鉄道橋は測量・設計実施中。令和4年度に架換え完了予定。

質問 大森調節池工事の進捗状況は。

市長 計画治水容量 15万m³の用地確保は大部分が完了。令和4年度末の完成に向けて予定通り進捗中。

質問 災害時、要配慮者を付き添いの家族等も含めて、避難所へ運ぶ体制作りを。

市長 現段階ではできない。

質問 健康福祉センターは場所的に避難所としてふさわしいのではないか。

市長 指定する考えはない。

質問 避難所の非常用電源の設置状況は。

市長 現時点ではない。懐中電灯・携帯電話の予備バッテリー等を用意していただきたい。

質問 建武橋架換工事による渋滞対策、誘導員の配置場所・期間・時間・人数は。

市長 交通誘導員は現時点では全て未定。

質問 園児や小学生等を守る周知は。

市長 学校等にお知らせを配布。要望・意見を伺い、安全第一で適切な判断を図る。



建武橋と民家 2車線の仮設道路ができる東側



万燈・トイレトレーラー・西洋館

古仲 リカ 議員

質問 未来を担う子ども達が様々な体験を通じて学び、考え、経験を積む為の万燈まつりへの関わり方について(1)市民スタッフの現状は(2)市民スタッフの募集は(3)生徒・学生への周知は(4)若者のスタッフ拡大は。

市民生活部長 (1)178名8団体、中学生43名、高校1団体が参加(2)広報いるま5月号で募集7月中旬に委嘱状を交付、随時受付も可。(3)HP、公共施設、市内中・高校、駿河台大学へ市民スタッフ募集のポスターを掲示(4)駅前PR、SNSを活用し積極的に勧誘。

質問 女性の目線から見て、明るく清潔で夜間でも安心して使用できるトイレトレーラーの導入が入間市にも必要(1)災害時の対策は(2)トイレトレーラー導入の検討は(3)クラウドファンディングの活用について。

危機管理監 (1)災害協定の締結及び備蓄(2)有効な対策だが課題も多い、動向を注視。(3)クラウドファンディング手法を研究する。

質問 魅力的な西洋館をもっと知ってほしい(1)利用状況について(2)駐車場は(3)入間市駅からの案内方法(4)家具・調度品等について(5)課題や今後の取り組みは。

教育部長 (1)一般公開は47日、その他撮影会等(2)12台(3)臨時看板4枚設置(4)雰囲気合わないとの意見は改善へ向け適宜対応(5)現在の事業継続と観光連携等に取り組む。



静岡県富士市のトイレトレーラー

質問 災害廃棄物処理ハンドブックの作成を。

環境経済部長 「災害廃棄物処理計画」を策定するため、現在「廃棄物減量等推進審議会」に本計画策定について諮問しており、来年度末迄に策定を予定している。

「災害廃棄物処理計画」が策定された後、ガイドブック等の作成を検討していく。

【その他】誰もが安心できる避難所運営を



就労支援・災害廃棄物処理

細田 智也 議員

質問 就労支援で、中間層として抜け落ちてしまっているのが子育て中の女性だと思う。地方自治体にとって重要なのは地域の特性を踏まえた、合理的で実現可能な施策を定め、計画的かつ着実に市民・事業者との協働を進めることだと考える。

現在、就労支援が縦割りとなっているが、今後、総合相談窓口の設置を。

市長 今後、総合相談窓口の設置を検討していく。

質問 新光中央公園のトイレの築年数は。
都市整備部長 築36年経過している。

質問 築年数も古く、薄暗い新光中央公園のトイレの改修を。

都市整備部長 今後、地元の要望等を聞きながら、改修について検討をしていく。



ユニバーサル就労のイメージ



建武橋架換え工事の悪影響対策を

金澤 秀信 議員

- **質問** 介護保険住宅改修費の受領委任払い制度の利用率が、入間市は0.1%と低迷。所沢市の41%と大きな差。改善を。
- **健康推進部長** 利用率拡大に向け努力。
- **質問** 3歳児健診時の視力検査による弱視・斜視等の発見率が低迷。目の異常が知能の発育にも影響し、弱視等の矯正は6歳までの間に実施すべきことから屈折検査機器の導入で早期発見・治療を。
- **健康推進部長** 現状の視力検査の異常発見率の低さに問題意識はある。屈折検査機器導入に向け、先進事例を研究する。
- **質問** 国道463号建武橋の架換え工事中の交通規制が、2年2カ月間、24時間上り線通行止め、下り線一方通行との突然の方針変更に住民は困惑。周辺住宅街への悪影響

対策について、①2年2カ月の上り線通行止め規制を見直し、後半1年間は片側交互通行で対応可能では②迂回車両が生活道路に進入し、渋滞や交通事故を招く恐れがある。交通誘導員の配置の他、信号機を時差式に変更したり、生活道路進入抑制の法的規制など万全の交通安全対策を。

市長 ①良い提案を頂いたので、県や狭山警察にもその方向で進むよう要請する。②自治会や学校などと連携し、地元の要望を県や警察と協議して万全の対応を図る。



渋滞による迂回車両の生活道路進入対策が不十分なまま工事開始予定の建武橋



藤の台公民館駐車場の早期整備を

向口 文恵 議員

- **質問** 高齢者などが、賃貸住宅での立ち退きや建て替え等で転居する際、保証人がいないことや、認知症発症の危惧など様々な理由で入居が困難な場合がある。こうした方々の確実な住まい確保のために、①社会福祉協議会と連携し、見守りや死後の家財整理等の生活支援で円滑な入居サポートを。②「改正住宅セーフティネット法」に基づく「居住支援協議会」の設置を。
- **市長** ①入居の困難さは承知している。社協を通じ「埼玉県住まい安心支援ネットワーク」で対応しているが、様々な入居支援は必要な施策。②独自の協議会の予定はないが、福祉部局と住宅部局の連携を図る。
- **質問** 平成30年6月議会で質問した傷みの激しい藤の台公民館の駐車場の整備は、

「早期に整備する」との答弁であった。藤沢地区センター移行前の早期整備を。

市長 来年度に実施するよう検討する。
質問 積雪時の除雪作業で、団地内の大通りなど自助・共助で賄いきれない道路は、業者による重機での対応となるが、除雪された雪の捨て場所に、事業者限定で地域の調整池を活用できないか。
都市整備部長 事業者と協議しながら調整池の囲いフェンスの更新と併せて扉を整備し、雪の捨て場所として活用を図る。



路面が傷み、凹みがある事から少量の雨でも水たまりができてしまう駐車場



入間市インタビュー 市民の声

interview 1



**つながり、広がる
こどもの笑顔!**

野田
小田切 典子 (社会福祉士)

地域の子ども達を様々な形で応援していきたいとの思いから、「こども応援団 森のおうち」を始めて4年が経ちました。少しずつ、遊べて学習ができる「こどもの居場所」となってきたように感じています。

先日は、あそびアート野田ブロックと野田子ども会の主催による「第三回ハッピーハロウィン」が行われました。森のおうちも「魔法のいるお菓子の家」に変身して、協力させていただきました。幅広い年齢の子ども達に変装を楽しみながら、地域を巡って歩く姿は、とても微笑ましく、見守る大人もみんな笑顔の2時間でした。地域の良さを感じる行事となってきたようです。

また、今後は「いるま学習支援の会」の方々と共に、公民館を利用した「小学生無料勉強会」を広げる取り組みのお手伝いもしていきたいと思っています。

interview 2



**ユニークな街づくりを
目指して**

上藤沢
永松 憲一 (無職)

入間市の価値は、条件を生かし他市にはない新しい形をすることで生まれる。一つの事例として情報インフラを取り上げる。入間市には入間ケーブルTVがあり、光ケーブル網が敷かれている。これを使って入間市の全戸が入間ケーブルTVに加入する条件を作れば、広報誌や防災無線、いろいろな掲示や回覧を合理化できる。市民が自分たちで作る番組なども発信でき、市民がもっと入間市の情報に接する機会が増え、関心も高まる。お金がないとの話があるが、ふるさと納税に返礼品ではなく、プロジェクトの参加があってもいいと思うし、市民が募金をしてもいいと思う。良い構想のプランを提示すればお金は集まるし、資金を集めプロジェクトを進める中に市民参加の行政が生まれると思う。議会は創造的に行政をリードする議員の集まりであってほしい。



いるま市議会だより No.189

表紙 / 入間市駅伝競走大会
(平成30年12月撮影)

撮影 / 市民カメラマン
松浦 利勝さん

編集 / 議会広報委員会

◎向口 文恵 ○古仲 リカ
小出 亘 長谷川 渉
内村 忠久 細田 智也
小島 清人 横田 淳一
野口 哲次

発行 / 入間市議会
インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>

3月定例会日程案

- 2月18日 (火) 開会
- 2月25日 (火) 総括質疑
- 2月26日 (水) 総括質疑
- 3月 3日 (火) 総務常任委員会
- 3月 4日 (水) 都市経済常任委員会
- 3月 5日 (木) 福祉教育常任委員会
- 3月 9日 (月) 一般質問
- 3月10日 (火) 一般質問
- 3月11日 (水) 一般質問
- 3月18日 (水) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

